

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 2020 年度奨学生の募集

2019. 9. 10

1 応募資格…以下の全てに該当する者

1. 在留資格が留学、難民の私費外国人留学生。

※ これ以外の場合には、2020 年 3 月 25 日までに在留資格を「留学」に変更する予定である旨の理由書を添付のこと。

2. 2020 年 4 月現在で、学部課程 3・4 年、博士課程前期 1・2 年、博士課程後期 2・3 年に在籍する者で、他の奨学生を受給しない者。（但し 2020 年 4 月 1 日から在学残期間が半年の者は除く。）
3. 1975 年 4 月 1 日以降に生れた者(45 歳未満の者)。

2 支給額 学部生：月額 10 万円、大学院生：月額 14 万円

3 支給期間 最長 2 年

4 推薦枠 無制限（各国籍 1 名）

5 提出書類 * 詳細は 募集要項『6 応募手続きについて』 を確認すること。

1. 米山記念奨学生申込書(所定用紙、本人が日本語で自筆)
2. 顔写真データ（上半身正面像 4.0cm × 3.0cm、3か月以内に撮影、1MB 以内の画像データ jpeg, gif, png いずれかの形式）
3. 経歴書（2019 年 10 月現在で作成、所定用紙、本人が日本語で自筆）
4. 在学証明書
5. 「編入学許可書」または「合格通知書」の写（編入学予定、入学予定者のみ。）
6. 成績証明書（学士課程以降、直近のものまで、外国のものの場合には写し可）
7. 研究計画書(所定用紙、800 字以内、本人が日本語で自筆)

テーマ：学部生「現在の学習・履修状況と卒業後の進路」

大学院生「大学院での研究予定または現在までの研究状況」

8. 小論文(所定用紙、800 字以内、本人が日本語で自筆)

テーマ：「なぜ、留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」

9. 指導教員の推薦状（所定用紙、PC 作成可、必ず指導教員の認印を押すこと。所定用紙を使用せずに PC 作成する場合も、A4 用紙 1 枚に収め同じ項目について記載すること。）
10. 私費外国人留学生身上書(所定用紙)
11. 家計状況申告書(所定用紙)
12. 在留カードの写し(表裏、PDF データ)

6 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係

7 締切 2019 年 9 月 24 日(火)

※ 黒インク、または黒のボールペンを使用、フリクションは不可。

※ 2020 年 4 月現在で他部局在籍予定の場合は、在籍予定の部局に提出して下さい。

※ グローバル萩博士学生奨金受給者は応募不可

※ 総長特別奨学生は応募可（受給期間中の授業料免除申請も可）

※ 所定用紙は財団ホームページからもダウンロード可能です。（<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>）

Rotary Yoneyama Memorial Foundation

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

2020 学年度 ロータリー米山記念奨学生募集要項

日本の大学・大学院在籍者対象

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会は

**日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として
勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し
奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。**

ロータリーとは

地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる、献身的な人々の世界的なネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905 年アメリカ・シカゴで発足し、今では 200 以上の国と地域に広まり、クラブ数 35,930、会員数 1,224,128 名(2019 年 4 月 11 日 RI 公式発表)に成長しています。日本では 1920 年に、東京で初めてロータリークラブが設立されました。現在、日本ではクラブ数 2,261、会員数 88,912 名(2019 年 3 月末現在)に達しています。

I はじめに

1 目的

ロータリー米山記念奨学会（以下「米山奨学会」と表記）は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることを目的としています。そのために求められる奨学生の資質は「①学業」、「②異文化理解」、および「③コミュニケーション能力」における熱意や優秀性にあります。

ロータリー米山記念奨学生（以下「米山奨学生」と表記）は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

- | | |
|---------------------|--|
| ①学業 | 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。 |
| ②異文化理解 | 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。 |
| ③コミュニケーション能力 | 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。 |

2 特長

奨学生による支援だけでなく、ロータリークラブによる世話クラブとカウンセラー制度があります。米山奨学生は、世話クラブの例会（会合）に毎月1回以上出席し、カウンセラーやロータリークラブ会員（以下「ロータリアン」と表記）との心のふれあいを通して真の国際・文化交流および相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学びます。

3 ロータリー米山記念奨学生の義務

1. 米山奨学生は、世話クラブであるロータリークラブの例会へ毎月1回以上出席します。
2. 年2回、奨学生レポートを当会に提出します。
3. 例会での卓話（スピーチ）を行い、世話クラブおよびロータリー地区の活動に積極的に参加するなど、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をします。

4 奨学期間終了後も続くネットワーク（学友会活動）

米山奨学生の期間終了後も学友会活動を通して学友（元米山奨学生）同士のネットワークを広げ、ロータリークラブあるいはロータリー組織と連携した活動に参加することができます。

ロータリー米山記念奨学会学友会（元米山奨学生同窓会）は日本国内に33団体、海外では台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーの9団体、計42団体あります。

II ロータリー米山記念奨学会の誕生とその歴史

1 9万人のロータリアンが支援

ロータリー米山記念奨学事業（以下「米山奨学事業」と表記）は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家、米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、また、新公益法人制度の施行に伴い、2012年1月4日をもって公益法人へ移行しました。ロータリー米山記念奨学金はすべて、日本のロータリアンからの寄付によって支えられています。

2 奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県の長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウェスレアン大学（オハイオ州）、シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日のフィランソロピー（Philanthropy）*の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。

また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもありご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”的精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らない陰徳の人でした。

3 世界の平和を願って

敗戦後の復興が続く1952年、東京ロータリークラブの会員によって「米山基金設立」の構想が立てられました。そして、世界に“平和日本”的理解を促すことを願って募金が始めされました。このようにして、東京ロータリークラブから始まった事業は、その後日本国内全クラブの共同事業として発展しました。

「1ヶ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金に」という合言葉から始まった米山奨学事業は、設立以来、累計で奨学金支給者数21,000人を超え、国籍別では129の国と地域となりました。

* Philanthropy: 語源はギリシャ語の「フィラン（愛）」と「アンソロポス（人類）」から由来している。
人類愛・博愛などと訳され、今日では「社会貢献」と訳される。

III 2020学年度 学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学生募集要項

1 募集と選考の方法

奨学生の募集および申込みは、留学生奨学金担当者（以下「学校担当者」と表記）を通して行われる。日本のロータリーは34地区で組織・構成され、各地区に選考委員会（以下「地区選考委員会」と表記）を設けている。地区選考委員会が、地区とその近隣に所在する学校を指定し、被推薦者数を提示し、学内選考によって相応しい学生の推薦を募るシステムで募集を行う。指定校は地区選考委員会にて毎年協議され、8月初旬に公表される。指定校にて選抜された被推薦者に対し、地区選考委員会が書類審査・面接選考を実施する。面接は原則として日本語で行われる。なお、連合大学院に属する申込者は、直接指導を受け通学している学校を在籍校とみなし、その在籍校からの推薦が必要となる。また、複数キャンパスがある学校に属する申込者は、通学しているキャンパスの地区の枠での申込みとなる。いずれも指定校になっていることが条件となる。

2 募集人員

新規採用約550名（新規採用は継続者の辞退により変動がある）

3 対象

以下の項目にすべて該当する者とする。

- ① 2020年4月に、文部科学省が所管する日本の大学・大学院に在籍又は在籍予定の外国人留学生。
- ② 学位取得を目的としている者。
- ③ 長期履修学生制度の学生は対象としない。

4 応募資格

下記の項目にすべて該当する者とする。

(1) 国籍とビザについて

- ① 日本国籍を有する者は、応募資格はない。
- ② 応募資格を有する者は、日本以外の国籍（「日本国籍を含まない二重国籍」および「無国籍」を含む）を有し、勉学または研究のための在留資格「留学」で日本に在留している者、または日本の大学に在学中で法務大臣から「難民」の認定を受けて日本に在留している者とする。

※条件付き応募について：応募段階の在留資格が「留学」、「難民」以外の場合は、2020年3月25日までに在留資格を変更し、在留カード(PDFデータ)を提出することを条件に応募できる。

(2) 指定校推薦制度

指定校は、地区選考委員会が、地区とその近隣に所在する学校を指定し、当会が承認する。応募者は、指定校に2020年4月に在籍、進学、編入し（連合大学院に属する申込者は、直接指導を受け通学している学校を在籍校とみなす）、その指定校の推薦を受けた者。複数キャンパスがある学校に属する申込者は、通学しているキャンパスの地区の枠での申込みとなる。指定校は文部科学省が所管する大学を対象とする。

(3) 在籍課程・学年

学部課程 2020年4月に学部課程3・4年（医・歯・獣・医学部は5・6年）に在籍する者は、応募資格がある。

- 大学院修士課程 2020年4月に修士課程1・2年に在籍する者には、応募資格がある。
- 大学院博士課程 2020年4月に博士課程2・3年(医・歯・獣・医学系博士課程は3・4年)に在籍する者には、応募資格がある。
- ※ 上記と同等とみなされる課程・学年在籍者に応募資格を与える。
- ※ 修士課程3年制、法科大学院、専門職大学院、薬学研究科、医学系「工学」専攻などは、修業年限によって対象学年が異なる場合がある。

(4) 学業・健康

学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する姿勢や関心を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

(5) 博士の学位

「博士」の学位を既に取得している者に、応募資格はない。

ただし既に取得している博士の学位(名称)と異なる研究をする場合には、応募資格がある。

(6) 年 齢

1975年4月1日以降に生まれた者(45歳未満の者)

(7) 他の機関からの奨学金との二重受給の禁止

- ① 当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金(以下「他奨学金」と表記)およびこれと同種の個人に与えられる補助金などと同時に受けすることはできない。ただし、地方自治体による学習奨励金(在住の留学生全員が受給の対象となるもの)、学術上の貢献に対する一時的な褒賞金・報奨金・賞金、および授業料免除(減額)またはそれに相当する学校の奨学金、研究に直接必要な費用のみを使途とする研究助成は他奨学金とみなさない。
- ② 研究に直接必要な費用以外を含む研究助成もしくは、授業料免除(減額)またはそれに相当する奨学金以外の学校の奨学金などは、受給額によって判断する。大学・大学院年額:57万6千円未満(「留学生受入れ促進プログラム」旧文部科学省外国人留学生学習奨励費相当額に満たない受給額)は併給を認める。それ以上は認めない。複数の受給がある場合は総額の受給額を対象とする。
- ③ 貸与型奨学金等、併給を認める。
- ④ 申込中に他奨学金を受けていても当会奨学金に申し込むことが出来る。ただし、当会奨学金と他奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。
- ⑤ 当会奨学金と同時に他奨学金を受給した場合には当会の奨学生としての資格が取り消され、他奨学金との重複期間の奨学金を全額返済しなければならない。

種類	併給の有無
他奨学金	× 金額に関係なく併給を認めない
地方自治体による全留学生対象の補助金・奨励金・奨学金	○併給を認める
地方自治体による選ばれた者のみの補助金・奨励金・奨学金	× 併給を認めない
授業料免除・授業料減額 または相当する学校の奨学金	○併給を認める
一時的な褒賞金・報償金・賞金	○併給を認める
研究助成（研究に直接必要な費用のみ使途とする）	○併給を認める
・上記にあたらない学校による奨学金など ・上記にあたらない研究助成	△年額受給費によって判断する。 ○金額<57万6千円 × 金額≥57万6千円
貸与型奨学金	返済義務が明確なものに関しては、給与するものではないとみなして、併給を認める。

(8) 米山奨学金の非重複性

過去に米山奨学金を受給した者には、応募資格はない。

5 奨学金と奨学期間

(1) 奨学金額

奨学金種類	奨学金額
学部課程ロータリー米山記念奨学金	月額 10万円
修士課程ロータリー米山記念奨学金	月額 14万円
博士課程ロータリー米山記念奨学金	

(2) 奨学金支給期間

採用された際の学年、および在籍課程への入学月によって奨学期間が異なる。在籍課程へ9、10月に入学している場合は、以下のとおり奨学期間が短縮される（終了年月は、各大学の課程修了年月によって異なる場合がある）。期間途中で課程を修了する場合はその修了年月で奨学期間が終了する。

【4月入学】

2020年4月採用時の課程・学年	支給期間	奨学期間開始	奨学期間終了
学部3、医歯獣医学部5、修士1、博士2、医歯獣医学系博士3年目の場合	2年間	2020年4月	2022年3月
学部4、医歯獣医学部6、修士2、博士3、医歯獣医学系博士4年目の場合	1年間		2021年3月

【9・10月入学】

2020年4月採用時の課程・学年	支給期間	奨学期間開始	奨学期間終了
学部3、医歯獣医学部5、修士1、博士2、医歯獣医学系博士3年目の場合	9月入学：1年5(6)ヶ月	2020年4月	9月入学：2021年8(9)月
	10月入学：1年6ヶ月		10月入学：2021年9月
学部4、医歯獣医学部6、修士2、博士3、医歯獣医学系博士4年目の場合	9月入学：5(6)ヶ月	2020年4月	9月入学：2020年8(9)月
	10月入学：6ヶ月		10月入学：2020年9月

* 4月以外の入学の場合、奨学期間が短くなる。

* 入学後、休学した期間がある場合は、課程修了年月を起点に最長2年間の奨学期間となる。

6 応募手続について

(1) 応募方法 *個人による当会への申込書の送付、持参は受けない。

- 申込者は、申込用紙を米山奨学会ホームページ(<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、学校の該当窓口へ提出する。
- 学校担当者は、以下①から⑧の申込書類等の記載内容を点検・確認し、全員の書類をとりまとめて専用 WEB 画面で申込申請を行う。発送は受け付けない。⑨のみ学校担当者経由のメールで受け付ける。

(2) 必要書類と提出に際しての注意

申込書類は、以下の通り。申込者が手書きで日本語ですべて記入すること。記入は黒インク又は黒のボールペンではっきりとご記入ください。読み取れない場合は、その用紙が選考資料から外れます。

① 米山記念奨学生申込書	本人が記入した内容を学校担当者が専用 WEB 画面に入力する。
② 顔画像データ 3カ月以内に撮影したもの。上半身正面像 4.0 cm × 3.0 cm。1MB 以内。 写真店などで受け取ったデータまたはスマートフォン向け証明写真作成アプリケーションを利用した画像データなどを学校担当者に提出すること。	学校担当者は、申請登録の際、jpeg、png、gif 形式で左記のサイズ、容量で専用 WEB 画面からアップロードする。
③ 経歴書	
④ 指導教員からの推薦状 必ず、指導教員の認印を押す。入学者、編入学者は、入学・編入学先の教員でなく、現在の指導教員による推薦状を提出する。学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とする。1枚に収め、ワードなどで作成の場合は、A4 用紙に所定用紙と同じ項目を記載すること。 ※日本語ではない場合は訳をつけてください。※外国人教員で印を使用しない場合は署名のみで可	学校担当者が PDF 化し、WEB 専用画面でアップロードする。 注) ③～⑥は、アップロードの前に、専用 WEB 画面にて付与される「申込番号」を担当者で必ず記入すること。
⑤ 研究計画書（当会所定用紙使用） 800 字以内。日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用し、被推薦者本人が記入すること。所定の原稿用紙を使用のこと。所定用紙以外の提出は認めない。 テーマ：学部生「現在の学習・履修状況と卒業後の進路」 大学院生「大学院での研究予定または今までの研究状況」	
⑥ 小論文（当会所定用紙使用） 800 字以内。日本語で黒インクまたは黒のボールペンを使用し、被推薦者本人が記入すること。所定の原稿用紙を使用のこと。所定用紙以外の提出は認めない。 テーマ：「なぜ、留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」	
⑦ 日本における前年度の成績表、あるいは提出可能な最近の成績表 海外の学校から日本の学校へ入学予定で、日本の成績表が出ない場合、または学校の制度によりまだ成績が出ない場合は不要。面接に間に合う場合は会場に持参し提出。それ以降は受け付けない。成績表という名称でなくても成績、単位取得が確認出来るものであれば良い。	
⑧ 在留カード（被推薦者本人を証明するもの） 写真の付いている面の PDF データ。文字がはっきり見えるもの。 ・在留期間：在留期限が 2019 年 10 月 1 日以降。 ・国籍：日本国籍以外（「4. 応募資格の(1)国籍とビザ」を満たすこと） ・在留資格：留学（難民認定を受けているものは「難民認定書」を追跡出来る形で当会宛に送付すること）「留学」、「難民」以外の場合は、2020 年 3 月 25 日までに在留資格を変更し、メールに添付して提出すること (宛先 gakumu@rotary-yoneyama.or.jp)。	学校担当者が PDF 化し、WEB 専用画面でアップロードする。
⑨ 合格通知・編入学許可書 2020 年 4 月に編入学予定、入学予定の者は、下記 A あるいは B のいずれかを提出する。 A. 編入学許可書の PDF。 B. 合格通知書の PDF。 *申込書に記入した 2020 年 4 在籍予定校（学部・研究科、専攻）に不合格になった者は、学校担当者を通して当会へ連絡すること。この時点で応募資格を失う。	学校担当者は、入手出来次第、メールに添付し提出する（宛先 gakumu@rotary-yoneyama.or.jp ）。提出の最終期限は 2020 年 3 月 25 日。ただし、高専専攻科 1 年または修士 1 年合格者に関しては事情により期限を考慮する場合がある

必要書類以外(指導教員以外の推薦状や研究資料など)は、受理しない。送付された場合は、審査の対象としない。

(3) 申込締切

締切:10月15日

被推薦者は、2020年4月に在籍(進学、編入)する指定校の担当者へ各指定校の定める学内募集期間内に申込書類を提出する。学校担当者は、期限内に専用Web画面にて登録申込みを完了する。

*連合大学院に属する学生は、直接指導を受けている(通学している)大学を在籍校とみなす。その在籍校が指定校となっている事が条件となり、その指定校から申込みをする。

7 選考試験

(1) 選考試験案内:

指定校担当者宛に、2019年11月下旬～12月下旬通知
※指定校担当者専用Web画面にて公表。地区によっては地区からも案内が発送される。

(2) 選考試験対象者:

被推薦者全員に選考試験を実施する。

(3) 選考試験日程:

2019年12月初旬～翌年1月末日の間に実施する。地区によって日時場所が異なり、学校担当者が専用WEB画面から確認が出来る。11月中旬頃から報告の早い地区から順にアップデートしていく。被推薦者は、学校担当者から日時・場所などが伝えられる。

(4) 選考試験内容:

面接試験。面接は原則として日本語で行われる。地区によって筆記試験を実施する場合がある。

※合格した場合の奨学期間内に、留学を予定している場合は面接で申し出てください。

(5) 受験場所:

推薦を依頼したロータリー地区で選考試験が実施される。

*連合大学院に属する学生の場合、直接指導を受け通学している大学を在籍校とみなす。

8 選考結果発表

選考内定結果は、12月中旬～2月初旬頃に、**決定地区順に指定校担当者専用Web画面にて公表**すると共に、3月末までに合格結果が**学校担当者あてに送付される**。複数の地区から推薦依頼があった学校には、地区ごとに通知が送付される。**学校担当者は、合格者に合格通知を配付する**。また、不合格者のみの学校へは郵送はせず、メールにて**3月末までに不合格を連絡する**。結果発表後、合格内定者は、3月1日までにWEB上で奨学金受給回答と連絡先などの登録を行う。Web上の登録方法は、Webでの合格内定公表の際、案内をする。尚、地区内で合格者(または合格内定者)が辞退した場合、不合格者から繰り上げ合格(または合格内定)とする。ただし、繰り上げ期限はその地区のオリエンテーション開催日(4月～5月中旬頃)までを期限とする。

*合否に関する問い合わせには、一切答えない。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
Tel (03) 3434-8681 Fax (03) 3578-8281
メール gakumu@rotary-yoneyama.or.jp

申込書類記入に関する注意点

▶ 氏名

申込書一枚目の氏名記入欄は、姓・名の区別のない氏名の方は、姓の欄にご記入ください。その他、収入・家族構成、推薦状、研究計画書、小論文の氏名記入欄は、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナでご記入ください。

▶ 対象学年

修士課程 3 年制、法科大学院、専門職大学院、薬学系研究科、医学系「工学」専攻などは、その課程の修業年限によって対象学年が異なる場合があります。いずれの課程でも、課程修了の最後の 2 年間が対象となります。

▶ 在留資格

申し込み時点で、「留学」、「難民」（地区奨励は、「留学」、「難民」、「研修」、「文化活動」）でなくとも、申し込みは可能です。翌年 3 月 25 日までに在留資格を変更した「在留カード(PDF)」をご提出ください。申込時点では、その時の在留資格をご記入ください。

▶ 指定校制度

当会の指定校制度は、日本国内 34 地区に分かれるロータリー地区毎に、その地域内に所在する学校キャンパスを指定校とする制度となります（下記「地区を越えた指定校」以外）。奨学金が始まる年の 4 月に在籍予定のキャンパスが、指定校になっていない場合は申込めません。また、複数の県にまたがってキャンパスを持つ学校は、同じ学校でもキャンパスごとに指定校になっているかをご確認いただく必要があります。

▶ 地区を越えた指定校制度

当会の指定校制度は、基本的に、ロータリーの地区がその地区内に所在する学校のキャンパスを指定する制度ですが、より優秀な学生の採用を目的に、近隣地区的キャンパスを「地区を越えた指定校」制度により指定校とする場合があります。そのため、学校所在地区以外の地区から指定を受ける場合があります。学校によっては、同じキャンパスで複数の地区から指定を受ける場合もあります。複数の地区から指定を受けている場合は、それぞれの地区に通うことを想定し、その地区に通える学生をご推薦ください。

▶ 大学院、5 年一貫制博士課程

博士一貫性制をとっている大学院は、前半 2 年間を修士（前期）相当とし、後半 3 年間を博士（後期）相当とします。そのため、奨学期間の始まる 4 月現在の学年が、博士一貫制 1, 2 年を修士 1, 2 年、博士一貫制 4, 5. 年生を博士課程 2, 3 年生として応募対象とします。入学年月、卒業年月も前期と後期に分けてご記入ください。

▶ 指導教官からの推薦状

- (1) 経済的な困窮度は、選考の対象となりません。推薦内容は、経済面以外の内容をご記入ください。
- (2) 推荐状を、推薦者経由にて学校担当者に渡される場合は、必ず厳封してお渡しください。
- (3) ワードなどで打ち込む場合は、指定用紙の内容と同じ項目を記載し、必ず押印をしてください。
- (4) 4 月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状を提出していただきます。
- (5) 学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。

▶ 研究計画書・小論文

必ず本人が日本語でご記入ください。横書き 800 字以内（所定用紙 2 枚）となります。内容は誰にでもわかるように、わかりやすい内容としてください。

申込から採用までのQ & A

Q1. 合格後にすることはありますか？

- A. 合格者は、合格通知と一緒に送付する案内の通り、3月1日までにWEB上で奨学生受給回答と連絡先などの登録を行ってください。

Q2. 合格通知をもらったらもう奨学生ですか？

- A. 奨学生になるためのオリエンテーションが4月中旬以降に各ロータリー地区で開催されます。このオリエンテーションにて、奨学生の心得や基本的な約束事項の説明を受け、「確約書」に署名をしていただくと正式な奨学生となれます。

Q3. いつから奨学生を受け取ることができますか？

- A. 上記オリエンテーションに参加して確約書に署名したあとに支給されます。
【4、5月分の奨学生】：地区によって下記のいずれかの方法で支給されます
①オリエンテーションの席上で支給
②オリエンテーション終了後、後日、世話クラブで支給
③オリエンテーションで4月分、後日、世話クラブにて5月分支給

Q4. オリエンテーションの日程はいつわかりますか。欠席した場合どうなりますか？

- A. オリエンテーション開催一ヶ月前頃に開催地区から案内が送られます。地区によって、大学経由で送られる場合と奨学生に直接送られる場合があります。更に、当会ホームページトップページの「News & Topics」にて、全地区の日程・場所を公表致します。欠席は、原則として認められません。

Q5. 奨学生はどのようにして受け取るのですか？

- A. 世話クラブの例会に出席した際に、当月の奨学生が支給されます。当会の奨学生は、世話クラブ・カウンセラーカード制度という、経済的支援にとどまらない心の交流が大きな特長となるため、銀行振込による支給はしません。奨学生になる方は、“奨学生をもらいに来ているだけ”という奨学生にはならないよう聞いていただきたいと思います。

Q6. 奨学期間中に休学をする予定です。申込は出来ますか？

- A. 申込は可能です。申込書でも、3カ月以上の出国や休学予定を聞いていますが、記入後に出国予定や休学予定が決まりましたら、面接などで事前に地区へ申し出てください。奨学期間中に、正式に休学が決定した場合は、休学申請が必要となります。ただし、クラブや地区主催の行事への欠席が続いたり、積極的に休学を利用して奨学生としての義務*が果たせない学生は奨学生としてふさわしくないと判断される場合があります。当会の奨学生は、単に、奨学生を渡すだけではなく、クラブ・地区での交流を通じて国際理解やロータリー精神などを学んでいただくことを主な目的としています。
学校担当者の方は、留学、出産、育児、介護、病気で帰国等長期に不在となる状況の有無をあらかじめ確認のうえ、奨学生の義務を果たせる方をご推薦ください。

Q7. 申込後、病気(または妊娠・出産・怪我など)をしました。どのような手続きが必要ですか？

- A. 面接やオリエンテーション開催前の場合は、至急、学校担当者から地区または奨学会へご連絡いただくことが必要です。奨学生としての義務*が果たせない場合は、申込や合格を辞退していただく場合もあります。また、合格後は世話クラブへも丁寧に十分な事情説明をし、ご理解いただくことが必要です。

Q8. 申込後、応募資格に関わる変更があった場合はどうしたら良いですか？

- A. 面接やオリエンテーション開催前の場合は、至急、地区または奨学会へご連絡ください。在留資格を「留学」、「難民」（地区奨励は、「留学」、「難民」、「研修」、「文化活動」）に変更する場合は、「在留カード（PDF）」の提出によりご連絡いただいたとみなします。

*奨学生としての義務：確約書参照

⇒推薦状を書く指導教員や学内選考に関わる教員の方にお渡しください

指定校担当者の皆様 および 指導教員の皆様へ ～ご推薦にあたって、ロータリー米山記念奨学生をご理解いただくために～

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となる人材を育て、国際親善と世界平和に寄与したい
という日本のロータリークラブ会員の願いから始まった外国人留学生支援です

米山奨学生の最大の特長は、 「世話クラブ・カウンセラー制度」です

様々な職業人や世代の集まりであるロータリークラブの
一つが「世話クラブ」となり、会員が「カウンセラー」
として奨学生をサポートします。



この奨学生は、日本全国のロータリー会員の寄付が財源です

米山奨学生に行っていただくこと=米山奨学生の義務

- ✧ 月1回以上の例会(ミーティング)出席
- ✧ 年2回の「奨学生レポート」(エッセイ)の提出
- ✧ スピーチの実施と、親睦行事や奉仕活動など地区行事へ参加



学校や研究だけでは得られない幅広い分野の人との交流を通じて、日本文化や日本社会のマナー、国際親善と奉仕の精神を理解していただくことを目的としています。年間を通じて交流行事に参加していただきます。

オリエンテーションや奨学期間終了式に指導教員や学校ご担当者にご参加いただくことがあります。

経済的に困窮している人や成績優秀者のみ対象ではありません

世話クラブを中心とする交流に参加することによって国際親善と奉仕の精神を学んでいただく奨学生であることを応募者と指導教員にもご理解いただくようお願いいたします。合格後、オリエンテーション欠席や時間がとれない等の理由で例会・行事欠席、奨学生を途中辞退したり、当会の「休学」申請を積極的に利用する状況にならないよう、留学・出産・育児・介護・病気・経済的理由による長期帰国等の学籍状況をあらかじめ確認のうえ、米山奨学生の義務を果たせる方をご推薦ください。(出産・育児・介護等に該当する方も、意欲的に参加可能な方は是非ご応募ください)また、成績不良等による留年や退学予定等でないかどうか学籍状況も確認のうえご推薦ください。

終了後も、元奨学生たちは“米山出身者”的縊を大切にしながら同窓会を通じて社会奉仕活動をしたり、個人として母国の社会や教育の発展に携わったり、駐日大使として「懸け橋」の役割を果たすなど、世界の様々な場所で活躍しています。
その模様は下記サイトで紹介しています。

- ▶ <https://www.youtube.com/user/RotaryYoneyamaMF>
- ▶ <https://www.facebook.com/RotaryYoneyamaMemorialFoudation>

学内公募し
ご推薦くだ
さい

ロータリアンがくれたのは、奨学生だけではない。友情だけでもない。一番大切な、人生の生き方を教えてくれました。
(1995-97 奨学生／中国)

帰国後も世話クラブの皆様が続けて応援してくださり感謝しています。母国と日本の懸け橋として活躍する事が自分の責任だと常に思って後輩の支援を続けています。
(2013-14 奨学生／ベトナム)



奨学生番号：

奨学生氏名：

見本

確 約 書

所属地区	
学校・課程・学年	
奨学金支給期間	
奨学金種類・金額	

奨学生として選ばれたことを誇りとし、その義務と責任において、世話クラブのカウンセラーと常に連絡を密にして、国際理解と親善のために努めます。また、月1回以上世話クラブ例会に出席します。奨学金は世話クラブ例会に出席した際に受け取り、これを学業および研究・文化交流・地域活動への参加など有意義な活動に役立てます。なお、以下の項目を守ることを確約します。

確 約 事 項

1. 次のような場合には、原則として奨学金が打切られることに同意します。

- 1) 世話クラブの例会に欠席し、2ヶ月以上連絡をしなかった場合
- 2) 「米山奨学生レポート」を提出しなかった場合

奨学生は、9月と2月に「米山奨学生レポート」を提出しなければなりません。未提出の場合は翌月の奨学金が停止され、督促に応じなかった場合は、原則として奨学金が打ち切りとなります。

- 3) 予定された卓話（スピーチ）や、地区で開催される行事に正当な理由無く協力しなかった場合

奨学生は、クラブ例会における卓話や、地区開催行事に参加する事を義務とします。やむを得ず欠席する場合は、必ず事前にカウンセラーへ理由を伝え理解してもらうことが必要です。

2. 次のような場合には、奨学金が打切られることに同意します。

- 1) 当財団が定める「出国に関する規程」に反したとき。

日本を出国する場合は、事前に別途定める「出国届」を奨学生本人がWeb上で届け出る。クラブへは奨学生本人から報告する。出国が認められる期間は、年間通算60日。ただし、研究目的、病気、慶弔などやむを得ない事情のため、国外に出る必要があると指導教員が許可した場合は、通算90日まで認める。

- 2) 当財団が定める「休学・復学に関する規程」に反したとき。

学校を休学または在籍しながら研究に必要な短期留学をする場合、休学を奨学期間内で6ヶ月まで認める。ただし、兵役の場合に限りその期間に応じ6ヶ月以上の休学を認める。

- 3) 停学又は退学の処分を受けたとき。

- 4) 学業成績不良により留年したとき。

- 5) 在籍校および在籍課程を変更したとき。

- 6) 他の機関から奨学金およびこれと同種の個人に与えられる補助金などを受けたとき。

該当者は二重受給期間中の奨学金を当財団へ返済する。

- 7) 奨学生としてふさわしくない行為があったとき。

- 8) 就職が決定し、正式に就労を開始するとき。

- 9) 在留資格が「留学」でなくなったとき、または「難民」認定を取り消されたとき。ただし、奨学生としての義務を果たし、奨学期間後の就職を目的に在留資格を変更する場合はこれに限らない。

3. 奨学期間に当該課程を修了し、学位を取得した場合は学位の取得年月をもって奨学金支給を終了します。

4. 奨学期間終了後も、ロータリークラブとの絆を大切にして、近況を少なくとも年1回年賀状や電子メールでクラブ、カウンセラーに報告します。また、住所・所属先、メールアドレスの変更があった場合は奨学会ホームページで登録します。

5. 奨学会やロータリー地区が、ロータリー活動推進や交流活動に必要とする場合、個人情報（氏名、携帯電話番号、メールアドレスなどの連絡先）をロータリアンに提供することを了承します。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 御中

20 年 月 日

奨学生となるにあたって、上記のとおり確約いたします。

奨学生署名(日本語でご記入ください)

ロータリー地区一覧

都道府県	区分	ロータリー地区
北海道	北海道東部 旭川市 銚路市 帯広市 北見市 網走市 稚内市 紋別市 士別市 名寄市 根室市 富良野市 上川郡 空知郡(中富良野町、南富良野町、上富良野町) 中川郡 宗谷郡 枝幸郡 天塩郡 網走郡 斜里郡 常呂郡 紋別郡 河東郡 河西郡 広尾郡 足寄郡 十勝郡 銚路郡 厚岸郡 川上郡 阿寒郡 白糠郡 野付郡 標津郡 目梨郡 礼文郡 利尻郡	2500
北海道	北海道西部 函館市 伊達市 室蘭市 苫小牧市 千歳市 北広島市 札幌市 江別市 砂川市 小樽市 岩見沢市 滝川市 赤平市 芦別市 美唄市 深川市 留萌市 登別市 石狩市 北斗市 歌志内市 苦前郡 雨竜郡 留萌郡 空知郡 (2500地区以外の町) 夕張郡 石狩郡 岩内郡 虻田郡 磯谷郡 余市郡 幌泉郡 様似郡 日高郡 浦河郡 茅部郡 亀田郡 山越郡 桧山郡 松前郡 白老郡 上磯郡 恵庭市 三笠市 夕張市 増毛郡 樺戸郡 古平郡 積丹郡 古宇郡 勇払郡 新冠郡 寿都郡 島牧郡 濑棚郡 二海郡 爾志郡 奥尻郡 有珠郡 沙流郡 久遠郡	2510
岩手県／宮城県		2520
福島県		2530
秋田県		2540
栃木県		2550
新潟県		2560
埼玉県	埼玉県西北部 川越市 熊谷市 行田市 秩父市 所沢市 飯能市 加須市 本庄市 東松山市 狹山市 羽生市 深谷市 入間市 朝霞市 志木市 和光市 新座市 富士見市 ふじみ野市 坂戸市 鶴ヶ島市 日高市 入間郡 比企郡 秩父郡 児玉郡 大里郡 鴻巣市(旧吹上町・旧川里町)	2570
埼玉県	埼玉県南東部 さいたま市 上尾市 桶川市 北本市 鴻巣市(旧吹上町・旧川里町以外) 春日部市 幸手市 久喜市 越谷市 蓼田市 草加市 八潮市 吉川市 三郷市 川口市 戸田市 蕨市 南埼玉郡 北埼玉郡(騎西町以外) 北葛飾郡 北足立郡伊奈町	2770
千葉県		2790
山形県		2800
茨城県		2820
青森県		2830
群馬県		2840
東京都	東京都東北部および沖縄県 江戸川区 葛飾区 足立区 墨田区 江東区 荒川区 台東区 千代田区 文京区 北区 板橋区 豊島区 新宿区 中野区 練馬区 武蔵野市 西東京市 東久留米市 清瀬市 小平市 東村山市 東大和市 武蔵村山市 福生市 羽村市 あきる野市 青梅市 西多摩郡	2580
神奈川県	横浜市 川崎市	2590
長野県		2600
富山県／石川県		2610
山梨県／静岡県		2620
岐阜県／三重県		2630
東京都	東京都西南部 中央区 港区 品川区 大田区 渋谷区 杉並区 世田谷区 目黒区 八王子市 日野市 町田市 立川市 国分寺市 小金井市 三鷹市 昭島市 国立市 府中市 調布市 多摩市 狛江市 稲城市	2750
愛知県		2760
神奈川県	横浜市 川崎市以外	2780
和歌山県		
大阪府	和泉市 泉大津市 泉佐野市 大阪狭山市 貝塚市 河内長野市 岸和田市 堺市 泉南市 高石市 富田林市 羽曳野市 阪南市 藤井寺市 松原市 泉南郡 泉北郡 南河内郡	2640
福井県／滋賀県／京都府／奈良県		2650
大阪府	大阪市 池田市 茨木市 柏原市 交野市 門真市 四条畷市 吹田市 摂津市 大東市 高槻市 豊中市 寝屋川市 東大阪市 枚方市 箕面市 守口市 八尾市 豊能郡 三島郡島本町	2660
徳島県／香川県／愛媛県／高知県		2670
兵庫県		2680
鳥取県／島根県／岡山県		2690
福岡県／長崎県壱岐・対馬／佐賀県鳥栖市・上峰町以外の三養基郡		2700
広島県／山口県		2710
大分県／熊本県		2720
宮崎県／鹿児島県		2730
佐賀県／長崎県		2740

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
2020学年度ロータリー米山記念奨学生申込書

※Family name(姓)とFirst name(名)を区別しない氏名の場合は全てFamily name(姓)の枠にご記入ください。(マレーシア、インドネシア、ミャンマー等の方はご注意ください)				
氏名	Family name(姓)		First name(名)	Middle name
	英文(English)		英文(English)	英文(English)
	漢字(中国・韓国・台湾は必須)		漢字(中国・韓国・台湾は必須)	
カタカナ		カタカナ	カタカナ	
性別	□男 □女	生年月日	年 月 日 (歳)	国籍・地域 注1
出生地	※中国籍の方のみパスポート記載の出生地をご記入ください。 省市区	在留資格	注2 □留学 □その他()	
2020年4月から在籍予定校と学年 ※連合大学院の場合は、通学している学校	学校名		大学以外	□短大・高専・専修学校()年 □高専専攻科()年 □専修学校高度専門士課程()年 □その他
	学部・研究科		学部	□学部()年→4年制の課程。医学系で4年制もこちら。 □医・歯・獣・薬学部()年→6年制の課程
	学科・専攻		修士	注3 □修士()年
入学月	月入学	2020年4月在籍予定校に編入学予定ですか?既に在籍、あるいは、修士・高専専攻科入学予定の方は「いいえ」にチェックを入れてください。		□はい □いいえ
卒業予定年月	年 月			
2019年10月現在、博士の学位を取得していますか? □はい (博士号名称:) □いいえ				
米山奨学生を受給したことがありますか? □はい □いいえ				
右記に該当する場合にチェックを入れてください。	□修士修業年限3年制 □専門職大学院 □法科大学院			
連合大学院在籍者は在学証明書が発行される学校(基幹校)名を記入してください。	連合大学院名			

注1)国籍・地域:台湾の場合は、在留カードに表示される国籍・地域が中国であっても台湾とご記入ください。

注2)在留資格:申込み時点での「留学」、「難民」(地区奨励は「留学」「難民」「研修」「文化活動」)でなくとも、翌年3月25日までに在留資格を変更し「在留カード(PDF)」を提出する予定であれば申込みは可能です。現在の在留資格をご記入ください。

注3)2020年4月在籍予定校:博士課程一貫制の制度を設けている学校は、博士課程前期を「修士」、後期を「博士」と記入。

経歴書

申込番号 (学校担当者記入 : 専用 WEB 画面参照)
20RY

氏名漢字(漢字名がある者のみ、公的に使用している漢字を記入)		英文氏名 英語の敬称 (Mr./Ms.) が付いた時の英文氏名を記入してください。奨学会が発行する、英文証明書の氏名順を確認するためご記入いただきます。 Mr./Ms.
現住所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/>	
携帯電話 (ない場合は自宅電話)	- -	
E-mail アドレス	@	
母国住所 (英文または漢字/ 郵便番号、国名含む)		

注: 高等学校・高等専門学校入学から 2019 年 10 月に至るまでの学歴を記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入。高等学校を卒業せず大学検定合格等の場合は、試験名と合格年月日を記入。

学歴	期 間	学校名 ※高専や大学(院)の場合は学部・研究科/学科・専攻/課程などを記入。 (例: 米山大学 文学研究科 日本文学専攻 博士課程)	キャンパス所在国
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 2019 年 10 月 現在		

学校担当者の方へ

上記「申込番号(学校担当者記入)」は、専用 WEB 画面にて申込書内容を登録時に付与される「申込番号」となります。学校担当者が転記してください。当用紙と以下提出書類(経歴書 2/3、3/3、指導教員からの推薦状、研究計画書、小論文他)はアップロード用に PDF 化する前に必ずご記入ください。

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入) 20RY
-------------------------------	-------------------------------

2020年4月の在籍校と学年	2020年4月在籍の学校名	通学キャンパス所在地 (都道府県・市区町)
		都道 府県
	2020年4月の課程・学年	市区郡
	学部 () 年	
	修士 () 年	2020年4月在籍校の入学 or 編入学・卒業予定
	博士 () 年	年 月 入 学
	高専専攻科()年	年 月 () 年次に編入学
	専修学校高度専門士課程()年	年 月 卒業予定
その他 () () 年		

上記学校在籍中、休学した場合は以下をご記入ください。

休学期間 年 月 ~ 年 月	休学理由 :
復学年月 年 月	
復学した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください)	
学部・修士・博士・その他 () 年生	

上記学校在籍中、留年した場合は以下をご記入ください。

留年した年月 年 月	留年理由 :
留年により重複した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください)	
学部・修士・博士・その他 () 年生	

職歴 (兵役を含む)	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容	勤務期間
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月

奨学期間予定中に、日本を3ヵ月以上離れる予定、もしくは休学予定はありますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
	↓	
	出国・休学 (該当するものに○をご記入ください)	
	期間 : 年 月 日 ~ 年 月 日	理由 :

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

申込番号 (学校担当者記入)

20RY

(注)2019年10月の状況を記入

右記情報は、合格後、世話をクラブへの参考資料とさせていただきます。選考には関わりはありません。	収 入	2019年10月現在 受給中の 奨学金	<input type="checkbox"/> 無																																													
			<input type="checkbox"/> 有	名称	/月額	円/期間	年 月まで																																									
		※他奨学金受給中も当会奨学金に申込むことができます。ただし、当会の奨学金に合格後、二重受給になる場合はどちらの奨学金を受給するかを選択していただきます。																																														
		仕送り <input type="checkbox"/> 無																																														
		<input type="checkbox"/> 有 (仕送り人続柄:) 月額 円																																														
		アルバイトなどの給与 複数の場合は複数の内容を記入し月額は合計額 (内容:) 月額 円																																														
		その他 (内容:) 月額 円																																														
		日本に在留する親・配偶者の収入 奨学金(名称:) (期間: 年 月 ~ 年 月) 月額 円																																														
		その他収入 (内容:) 月額 円																																														
		家賃 (アパート・寮・その他) 月額 円 授業料 (入学金、施設費等は含まない) 2019年10月現在 年額 円 上記の内自己負担額 円																																														
①～⑤は必ず記入すること。該当しない場合は「なし」と記入すること。																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>続柄</th> <th>年齢</th> <th>国籍</th> <th>現住所(国・都市名のみ)</th> <th>勤務先・在学校名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>① 配偶者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 子供</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ 父</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>④ 母</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤ 兄弟姉妹</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							氏名	続柄	年齢	国籍	現住所(国・都市名のみ)	勤務先・在学校名	備考		① 配偶者							② 子供							③ 父							④ 母							⑤ 兄弟姉妹					
氏名	続柄	年齢	国籍	現住所(国・都市名のみ)	勤務先・在学校名	備考																																										
	① 配偶者																																															
	② 子供																																															
	③ 父																																															
	④ 母																																															
	⑤ 兄弟姉妹																																															

(注)家族の中に以下に該当する者がいる場合、備考欄に必ず記入すること。

- ・過去に米山奨学生であった者(奨学金種類・奨学期間)
- ・現在、米山奨学生である者(奨学金種類・奨学期間)
- ・米山奨学金申込み予定者(米山奨学金申込み・在籍大学)
- ・親、配偶者が日本に在留する場合(在留資格)
- ・国費奨学金あるいは他の奨学金受給者(奨学金名・月額奨学金・奨学期間)
- ・死亡した者については、氏名・国籍を記入し、備考欄に死亡と記入

※記入された内容は、個人情報として取り扱い、厳重に保管されます。参考として面接官や関係者に配布されますのでご了承ください。

氏名（日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ）

申込番号（学校担当者記入）

20RY

指導教員からの推薦状

指導教員へのお願い：推薦者経由にて学校担当者に渡される場合は、厳封してください。下記記入項目は、指導教員がご記入ください。

被推薦者氏名	国籍・地域
2020年4月在籍予定の学校名	
指導教員氏名	役職名 
指導教員所属学校名・学部・研究科・学科	作成日 年　　月
推薦の理由を以下に出来るだけ詳細にご記入ください。困窮度は選考の対象となりませんので経済面以外の内容としてください。	
学習面：	
人物：	
その他：	

※指導教員が1枚に収める。別紙ワードで推薦状を作成する場合は、A4用紙に当用紙と同じ項目を記載してください。指導教員印を必要とします。

※学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。

※2020年4月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状を提出していただきます。

※日本語でご記入ください。記入言語が日本語でない場合は日本語訳を添付してください。

氏名（日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ）

申込番号（学校担当者記入）

20RY

研究計画書

下記のテーマについて、必ず本人が日本語、800字以内、横書きで記入してください。

黒インク又は黒のボールペンを使用すること。誰にでもわかりやすくご説明ください。

学部生・地区奨励：「現在の学習・履修状況と卒業後の進路」

大学院生：「大学院での研究予定または現在までの研究状況」

18×20

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入)
	20RY

研究計画書

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

申込番号 (学校担当者記入)

20RY

小論文

下記のテーマについて、必ず**本人が日本語、800字以内、横書き**で記入してください。

黒インク又は黒のボールペンを使用すること。

テーマ：「なぜ留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」

18×20

氏名（日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ）

申込番号（学校担当者記入）

20RY

小論文

2 2 × 2 0

私費外国人留学生身上調書

1. 身分·名前等

身 分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号			
学科名 専攻名		指導 教員名		研究室 TEL		
氏 名	(漢字)				既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国 種		
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了				
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	在籍身分	在籍期間				
		年 月 ~ 現在				
		年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月						
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館			
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館			
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町			
	国際交流会館東仙台会館					
	県・市営アパート(住所)					

2. 家族状況（母国の家族情報を含むこと。）

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

家計状況申告書

在籍	学部 年 MC 年 、DC 年 、大学院研究生	学籍番号	
氏名			

家計状況

* **2018年4月から2019年3月までの**あなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2018年10月入学の方は、2018年10月から2019年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

支 出	入 收
授業料	自己資金(預金)
住居費	仕送り
生活費	奨学金
その他()	その他()
合 計	合 計

特記事項（経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください）

獎學金受給狀況

*これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し（〇で囲む）

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

*該当箇所を○で囲む

2019年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
2017年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

2020学年度奨学生募集 地区から指定校に対する地区独自の選考の目安	
地区	■キャンパス指定/高専の指定方法/地区を越える指定について等、学校個別に追加される場合があります。 ■【地区を越える指定】で合格した場合、指定（募集）地区において世話クラブと交流行事に参加いただきます。 ■「奨学金申込者一覧画面」内の「選考の目安」表示を必ずご確認ください。 ■地区奨励奨学生対象校は「地区奨励奨学生の注意事項」をご参照ください。
2500	①推薦者の国籍が1カ国50%を超えないように推薦願います。幅広い国籍から推薦願いますようご配慮下さい。但し、対象留学生が1カ国の場合3名まで推薦を認めます。 ②奨学期間が1年以上の方を推薦願います。必ずしもではありませんが、4月入学の方を中心に推薦頂ければ幸甚です。 ③他の奨学生と異なり、奨学期間に担当のロータリークラブ活動に積極的に参加して頂く旨を本人及び担当教授に理解頂き、月1回は必ずロータリークラブの例会に参加する必要があるので、それが可能な方を推薦願います。 ④可能な限り日本語で意思疎通が出来る方を推薦下さい。 ⑤なるべく他の奨学生と併願されない方を推薦下さい。 ⑥同じ教授が複数の学生を推薦しないように協力下さい。学校内で留学生の担当教授が1名だけの場合は2名まで推薦を認めます。
2510	①ロータリーの目指す平和と国際親善に積極的に参加できる学生 ②日本語取得の意欲にあふれ、コミュニケーション能力があり、母国と日本との親善を深める意欲のある学生 ③被推薦者の国籍の内訳は、被推薦者枠が複数ある学校は2カ国以上・被推薦者枠が10名以上ある学校は3カ国以上を推薦してください ④最終学年を優先してください
2520	①次年度の新規奨学生となるべく採用したいので、課程の最終学年を優先してください。 ②国籍について、なるべく同じ国に偏らないようにお願いします。ただし、募集数を満たさない場合は、偏っても構いませんので募集数は満たすようにお願いします。
2530	①積極的に例会に出席する学生。 ②ロータリー活動に関心を示し、世話クラブの例会、家族との交流、地区ロータリー諸行事に積極的に参加できる学生。 ③被推薦者の国籍は、1カ国に偏らないようにしてください。 ④米山奨学生として誇りを持ち、将来にわたり、母国と日本の懸け橋となり、交流を深める意欲を有する学生。 ⑤奨学期間、さらに卒業後も積極的に学友会に参加する学生。
2540	①米山奨学生として、将来にわたり、母国と日本の懸け橋となり交流を深める意欲を有する学生を推薦してください。 ②日本語能力が有り、意思疎通が十分に出来る能力を有する学生を推薦してください。 ③ロータリー活動に関心を示し世話クラブの例会、家族との交流、地区ロータリークラブ諸行事に積極的に参加できる学生を推薦してください。 ④卒業後も積極的に学友会へ参加していただけるような学生を推薦してください。 ⑤被推薦者の国籍内訳は、1カ国の割合を50%を超えないようにしてください。 ⑥同じ教授が複数の学生を推薦しないようにご協力ください。⑦留学義務がある場合は、留学期間終了後の学生を推薦してください。
2550	①募集者が一つの国に偏らないようお願いします。 ②優秀性と同時にロータリー米山記念奨学会の目指すところが理解でき、ロータリーに関心を示し、積極的に参加できる学生を推薦してください。 ③奨学期間が1年以上ある学生。
2560	①被推薦者の国籍内訳は、1カ国に偏らないようにしてください。 ②ロータリー活動に関心を示し、積極的に協力する学生。 ③奨学金受領期間が1年以上ある学生。 ④日本語運用能力がある学生（日本語での意思疎通がある程度できること）。
2570	①被推薦者の国籍内訳は、1カ国に偏らないようにしてください。 ②日本語運用能力がある学生をご推薦下さい。 ③当地区（埼玉県西北部）に通える範囲内に居住の学生をご推薦下さい。 ④ロータリー活動に関心があり積極的に協力をする学生を推薦下さい。
2580	①日本留学の明確な意図・目的、そして達成への努力を惜しまない者。 ②米山奨学生、学友として将来にわたり母国と日本の懸け橋、交流を深める意欲を有する者。 ③日本の文化を積極的に知ろうとする気持ちを持ち、行動している者。 ④日本語能力があり、意思疎通が十分に出来る能力を有する者。 ⑤ロータリー活動を理解し、世話クラブ例会、家族との交流、ロータリー諸行事に積極的に参加できる者。 ⑥世話クラブメンバー及びカウンセラーとの交流を深める為、奨学期間を1年以上有する者。 ⑦合格者の出身が偏らないようにする為、一つの国（地域）の出身者の占める割合を30%以下とする。 ⑧奨学期間が1年を超える合格者の割合を当地区全体の30%以下とする。 ⑨応募学生に係る大学がロータリー、米山奨学事業に対して協力的な姿勢を有すること。
2590	①多様な国籍と多様な分野からの学生 ②母国と日本の親善を深め、平和の懸け橋となる資質（リーダーシップと協調性）のある学生 ③ルールとマナーを大切にする学生 ④日本語で会話ができる学生 ⑤ロータリー活動に積極的に参加し、奨学期間終了後も交流を続けられる学生
2600	推薦は1カ国に偏らないようにしていただきたい。採用は1カ国40%以内とすることになります。
2610	米山事業の目的が、各国からの私費で日本に来ている留学生を支援し、日本との国際交流・国際理解を推進し、また奨学生の母国同士も含めての民間による平和の懸け橋の構築です。そのため、在籍数の多い国々に偏らず、幅広い国籍であってほしいと望みます。学内選考では、成績だけではなく個人のコミュニケーション能力と米山事業を理解しているかを確かめてください。日本語をこれから覚えたい人なら、言葉の問題はありません。選考に男女差・経済状況は関係ありません。
2620	①採用総数に対して奨学生の国籍を1カ国30%以内としますので、国籍が偏ると不利になります。被推薦者2名枠の大学は同じ国籍の学生は避けてください。被推薦者3名枠以上の大学は1カ国の国籍が50%を超えないようにしてください。 ②「最終学年」で「支給期間1年」の学生を優先いたします。 ③原則として「4月入学」の学生を優先いたします。 ④日本語で意思疎通のできる学生を推薦してください。 ⑤学問、研究に今後も積極的に取り組む姿勢がある学生を推薦してください。 ⑥ロータリー活動に関心を示し、かつ積極的に協力し、将来日本と母国との親善を深めようとする学生を推薦してください。

地区	2020学年度奨学生募集 地区から指定校に対する地区独自の選考の目安
	■キャンパス指定/高専の指定方法/地区を越える指定について等、学校個別に追加される場合があります。 ■【地区を越える指定】で合格した場合、指定（募集）地区において世話クラブと交流行事に参加いただきます。 ■「奨学生申込者一覧画面」内の「選考の目安」表示を必ずご確認ください。 ■地区奨励奨学生対象校は「地区奨励奨学生の注意事項」をご参照ください。
2630	<p>①米山記念奨学生制度を理解して採用面接に臨んでください。（当日質問をいたします） ②ロータリー活動に積極的に参加することができます。 ③日本語でコミュニケーションができる。（日常会話程度） ④原則として「2020年4月から奨学生を受領できる」学生を推薦してください。 ⑤選学期間が12カ月未満の学生は、ロータリーの意義を理解するのに十分な期間ではないと思われる所以、採用いたしません。 ⑥海外からの留学生が対象で、国籍は問わない。 【大学の奨学生申請事務局へのご連絡】 ①次期の採用人数は、当地區では16名を予定しております。 ②採用者の国籍バランスを考慮して選考しております。ひとつの国（地域）の採用枠は40%未満といたします。 ③推薦を避けてほしい学生 ・4月に開催される新規奨学生オリエンテーションに参加できない学生 ・数カ月間の留学・出国や休学予定が既に分かっており、毎月の例会参加が困難な学生 ・とにかく奨学生が必要で、人との交流や行事参加に关心・時間が持てないという学生 ・留年している/留年の可能性がある学生</p>
2640	<p>①学業優秀なことは勿論のこと、奨学生を受けることによって学問が進み、将来学業に期待できる学生。 ②将来、母国と日本との親善を深めようとの使命感がある学生。 ③被推薦者複数のある学校は、同一国籍の割合は50%もしくはそれ以下にしてほしい。 ④コミュニケーション能力に優れている学生。日本語の習得は勿論のこと、グローバルな観点で若者同士の交流や、居住する地域住民とも交流する気持ちのある者。</p>
2650	<p>①被推薦者が複数の場合、被推薦者の国籍が1カ国に偏らないようにしてください。（大学が推薦できる優れた留学生であれば、偏つても募集数まで申込みは可能としますが、偏りのないことが望ましい） ②ロータリー活動に关心を示し、積極的に参加協力する学生を望みます。 ③将来は母国と日本の親善を深めようとする使命感がある人を望みます。 ④日本語能力があり、意思疎通が十分にできる学生。 ⑤選学期間が1年間以上となる学生（2020年4月から卒業まで1年間未満は不可）</p>
2660	<p>①被推薦者が複数の場合、1カ国が占める割合を50%以内にしてください（必ず守ってください）。 ②上記の割合を超える申込は、選考において不利になりますので、①の厳守をお願いいたします。 ③ロータリー活動に关心を示し、積極的に協力する学生。</p>
2670	なし
2680	<p>①被推薦者の国籍は1カ国に偏らないようお願いします。被推薦者が複数名の場合、1カ国の割合を50%程度となるようにしてください。 ②可能な限り大学院生を優先してください。 ③博士課程在籍者を優先してください。 ④ロータリー活動に理解を示し、クラブにおける卓話や所属クラブ・地区主催の親睦活動・奉仕活動に積極的に参加する意欲を持つた学生を推薦いただきたい。</p>
2690	<p>①日本語運用能力があり、日本語での意思疎通ができる学生。 ②複数の被推薦者がいる場合、国籍が1カ国に偏ないこと。採用においては、国籍に偏らない採用を計画しております。 ③被推薦者は、2020年4月に学部4年目、修士課程2年目、博士課程3年目、医学部6年目、医学系博士課程4年目に在籍する学生が望ましい。 ④本年度は、選学期間が1年を超える合格者の割合は、当地區全体の20%程度とする。 ⑤ロータリー活動に关心を持ち、積極的に行事参加し、ロータリー会員と交流する意欲を持つ学生。 ⑥米山奨学生・学友として将来に亘って交流を続け、母国と日本の懸け橋として友好親善に努める意欲を持つ学生。</p>
2700	<p>①採用学生の1カ国の国籍を30%以内としていますので、国籍が偏ると不利になります。なるべく幅広い国籍から推薦してください。 ②学部生・大学院生の両方を推薦できるときは、大学院生を優先的に推薦して下さい。 ③当落線上に並んだ場合、選学期間2年の応募者を優先採用します。 ④面接は原則として日本語のみで行いますが、日本語会話が困難でも構いません。 ⑤選学期間6ヶ月の応募者は、地区採用方針に適わないため、推薦されても決して採用しません。くれぐれもご注意ください。 ⑥試験は、筆記試験・面接試験を実施します。面接試験は、個人面接を基本としますが、これに加えてグループディスカッションを行なう場合がありますのでご注意ください。</p>
2710	<p>①ロータリー活動を理解し、世話クラブ例会、家族との交流、ロータリー諸行事に積極的に参加できる学生をご推薦ください。 ②将来母国と日本の親善を深めようという使命感のある学生をご推薦ください。 ③被推薦者が2名枠の大学は、同じ国籍の学生は避けてください。 ④被推薦者が3名以上枠の大学は、1カ国の国籍割合が50%を超えないようにしてください（例：被推薦者枠が5名の場合、同じ国籍は2名までお願いします） ⑤当地区に通える範囲に居住の学生をご推薦ください。 ⑥出来るだけ4月に最終学年に在籍する学生を優先してください。 ⑦6ヶ月の選学期間ではロータリーと接する機会が少なく、十分な理解ができないと思われるため、選学期間1年以上の学生を推薦してください。 ⑧日本語である程度の意思疎通が可能な方をご推薦ください。 ⑨国費留学との併願者は不可とさせていただきます。 ⑩合格者全体で同一国籍の学生が占める割合は40%以下とさせていただきますのでご了承ください</p>
2720	<p>①指定校からの推薦でも採用0の場合もあります。 ②採用総数に対して奨学生の国籍を50%以内を目標とします。 ③ロータリークラブ（世話クラブ）の例会に月1回以上の出席義務があります。 ④年間行事の奨学生オリエンテーション、夏季研修会、地区大会、修了式は出席義務になります。 ⑤ロータリー活動に关心、興味がある学生を優先してください。 ⑥選学期間終了後も連絡が取れる学生を優先してください。 ⑦奨学生期間の中でクラブ訪問をして30分スピーチを最低5回していただきます。</p>

地区	2020学年度奨学生募集 地区から指定校に対する地区独自の選考の目安
	<p>■キャンパス指定/高専の指定方法/地区を越える指定について等、学校個別に追加される場合があります。</p> <p>■【地区を越える指定】で合格した場合、指定（募集）地区において世話クラブと交流行事に参加いただきます。</p> <p>■「奨学金申込者一覧画面」内の「選考の目安」表示を必ずご確認ください。</p> <p>■地区奨励奨学生対象校は「地区奨励奨学生の注意事項」をご参照ください。</p>
2730	<p>①1カ国に偏らないよう多数の国の学生を希望します。1カ国は望ましくは30%以内それでも困難な場合は50%以内をお願いいたします。</p> <p>②出来るだけ奨学期間が1年間若しくは2年間の（半年間でない）方を推薦願います。又、原則として4月入学の方を推薦下さい。</p> <p>③日本語での会話で意思疎通ができる方をお願いいたします。</p> <p>④ロータリー活動に 관심を示し世話クラブの例会、家族との交流、地区ロータリークラブ諸行事に積極的に参加できる学生を推薦してください。</p> <p>⑤同じ教授が複数の学生を推薦頂かないようお願い申し上げます。</p> <p>⑥被推薦者数は採用者の3倍としております。推薦枠のある大学でも選考結果によりましては1名もご採用がかなわないことがあるということをご理解ください。</p> <p>⑦1名のみの推薦の場合採用がかなわないことがありますので必ず2~3名の推薦をお願い致します。</p>
2740	<p>①国籍については、1カ国に偏らないようにする。</p> <p>②留学生応募者の募集数を確保してください。</p> <p>③日本語にての挨拶または日常会話ができる留学生を応募させて下さい。</p>
2750	<p>①合格者の出身国が偏らないようにするため、多様な国（地域）の出身者を推薦してください。特に被推薦者が複数の場合、被推薦者の国籍が、1カ国に偏らないようにしてください。また、同じ教授が複数の学生を推薦しないようお願いします。</p> <p>②奨学金受給資格が1年以上の学生の推薦をお願いします。</p> <p>③当地区のロータリークラブへ通える範囲内に居住の学生を推薦してください。</p> <p>④ロータリー活動に 관심を示し、積極的に参加、協力する学生を推薦してください。</p> <p>⑤日本語運用能力があり、コミュニケーション能力の優れた学生を推薦してください。</p> <p>⑥できるだけ最終学年の学生を推薦してください。</p>
2760	<p>①日本語での日常会話に問題がなく、日本語を理解し、コミュニケーションを図れること。</p> <p>②修士・博士の最終学年を優先する</p> <p>③ロータリー活動に関心があり、協調性の高い方。</p> <p>④地区的行事はもとより、世話クラブの例会や奉仕活動に積極的に参加し、ロータリアンとの交流が図れること。</p>
2770	<p>①面接は日本語のみで行うため、面接に対応できる日本語能力あるいはコミュニケーション能力を有する学生であること（日本語が下手でも、コミュニケーションを図ろうとする意欲があれば問題ありません。ただし、4月の初顔合わせ会までには、日常会話が問題ない程度には日本語能力を高めて頂く必要があります）。</p> <p>②地区行事、グラブ例会に参加し、ロータリアンとの交流に意欲がある学生をご推薦いただくこと（奨学生には全ての例会に参加することを奨励しています）。</p> <p>③幅広い国籍の学生をご推薦いただくこと（応募少数の国籍・地域の学生は、優先されます）。</p> <p>④4月入学生を優先してご推薦いただくこと。</p>
2780	<p>①米山奨学事業の意義を理解し、将来母国との懸け橋として積極的に活動できる可能性のある学生を推薦して頂きたい。</p> <p>②最低限日本語能力は必要ですが、それ以上に全般的なコミュニケーション能力、コミュニケーションを取る強い意志のある学生を推薦して頂きたい。</p> <p>③ロータリー活動に理解を示し、卓話やその他事業に積極的に参加できる責任感ある学生を推薦して頂きたい。</p> <p>④1カ国に偏らず多くの国の学生を、また学部生・大学院生（博士・修士課程）の最終学年生を最優先に推薦して頂きたい。</p>
2790	<p>①日本語で意思疎通の出来る学生及び努力が認められる学生（協調性・コミュニケーション力を重視します）面接は日本語のみ行います。</p> <p>②ロータリー活動に関心を持ち積極的に参加するとともに将来母国と日本の親善を深めようとする使命感がある事。</p> <p>③複数の被推薦者がいる場合は1カ国の国籍割合を50%以内とする。</p> <p>④出来る限り最終学年を優先し、複数の被推薦者がいる場合は学部生の割合を50%以内とする。</p> <p>⑤他奨学生と異なり、奨学期間中は世話ロータリークラブの活動に積極的に参加して頂く旨を本人及び、担当教授に理解を頂き、月1回は世話ロータリークラブの例会に出席する必要があるので、可能な方の推薦を願う。</p> <p>⑥出来るだけ奨学期間が、1年間若しくは2年間の方を推薦願います。原則として4月入学の方をお願いいたします。半年の学生は採用しない。</p> <p>⑦出来る限り多くの国からの奨学生を採用する為、全体で採用学生の1カ国の国籍割合を30%としていますので、学内選考において国籍が偏ると不利になります。</p> <p>⑧奨学期間が2年の奨学生は全体の30%とします。</p>
2800	<p>①米山記念奨学会が募集要項に提示する内容に準じる。</p> <p>②国籍が1カ国に偏らないよう幅広い国籍から推薦願います。</p> <p>③村山、庄内、置賜の地域性（学部の分散）を考慮して推薦願います。</p> <p>④特にロータリークラブと奨学生の特徴を理解し、奨学期間中に担当のロータリークラブ活動に積極的に参加して頂く旨を本人及び担当教員に理解頂き、月1回はロータリークラブ例会に参加できる学生を推薦願います。</p> <p>⑤日本語能力があり意思疎通が十分に出来る能力を有する方の推薦を願います。</p>
2820	<p>①国籍は1カ国に偏らないよう推薦してください。</p> <p>②コミュニケーション能力に優れている学生を推薦してください。</p> <p>③ロータリー活動を理解し、積極的に参加できる学生を推薦してください。</p> <p>④2年間支給となる学生も募集いたします。（全体の2割程度）</p>
2830	<p>①ロータリークラブの例会やロータリー活動に積極的に参加してください。</p> <p>②日本語で意思疎通が十分に出来るようにしてください。</p>
2840	<p>①原則として群馬県在住者</p> <p>②なるべく1カ国で50%を超えないよう考慮していただきたい。（偏った場合でも募集数を満たしてください）</p> <p>③4月入学生を優先とする</p>



公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

自ら国際的な懸け橋として貢献することを目指す留学生を支援します

2020年 奨学生募集



<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

奨学金額（返済義務なし・月額）：博士・修士 14万円／学部 10万円／地区奨励奨学金 7万円/10万円

学内応募窓口：

締切： 月 日

学内選考で選抜された応募書類が、学校経由で 10/15までに米山奨学会へ提出されます

ー奨学金申請時の心得についてー

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者(相手方)が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7~8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からぬことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。